

2022 年度 健康経営に関する指標の状況について

1. 健康投資施策の取組状況に関する指標関係

- ①定期健康診断の受診率については、育児休業中等により、定期健康診断を受診することができない従業員を除き、100%であった。
- ②ストレスチェックの受検率は、97.6%であった。
- ③平均月間所定外労働時間は、25 時間であった。（目標は 30 時間未満）
- ④年間 18 日以上有給休暇を付与されている者について、年間 9 日以上を取得を目標として運営し、対象者の 98.4%が 9 日以上 of 休暇を取得した。（今年度の目標は 100%取得）
- ⑤ウェルネス委員会は月 1 回開催し、2022 年 8 月には日本生命健康保険組合より事務長に参加いただき、情報交換を実施した。
（その他に、日本生命健康保険組合とは、毎年、取組方針等に関する協議の場を設定）

2. 従業員の意識変容・行動変容に関する指標

- ①健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、喫煙者率は 2019 年度より 2.1%低下し 6.7%となった。
- ②健康診断時の受診票への回答内容を集計した結果、運動習慣者比率は 2019 年度より 5.9%低下し 14.2%であった。
- ③ヘルスリテラシーの向上に向け、「ハラスメント防止」「睡眠習慣」「禁煙」「食生活の改善」「メンタルヘルスと女性の健康課題」をテーマとして、ウェルネス研修を年 5 回実施し、育児休業中等の者を除き、全従業員がこれを受講した。

3. 健康関連の指標

- ①健康診断の結果、BMI が 18.5 以上 25 未満である適正体重者の割合は、59.4%であった。
- ②全従業員を対象に「ウェルネスサーベイ」を実施した結果、全体スコアは 3.72（昨年度比+0.04）。
- ③ストレスチェックにおける高ストレス者率は、14.3%であった。
- ④ストレスチェックと合わせ実施しているワークエンゲイジメント、およびプレゼンティーズムの指標に関する調査（当社独自アンケート）の結果は表の通りであった。

ワークエンゲイジメント						プレゼンティーズム	
活力	昨年度比	熱意	昨年度比	没頭	昨年度比		昨年度比
2.30	▲ 0.03	3.30	0.00	2.93	▲ 0.04	3.65	0.02

※ワークエンゲイジメント：活力・熱意・没頭に関する 3 項目のスコア（1=ちがう-4=そうだ）の全従業員平均。

※プレゼンティーズム：仕事の実績・量・質に関する 3 項目のスコア（1=50%未満-5=100%以上）の全従業員平均。

※対象者 336 名、回答率 94.9%

⑤アブゼンティーイズムの指標に関する調査（正職員の傷病による欠勤日数の1人あたり平均）は、3.3日（昨年度比+0.9日）であった。

※対象者 229 名

4. 労働安全衛生に関する指標

労働災害は、3件発生した（うち通勤災害3件）。